



女子バレーボール部／春季リーグ開幕 6 連勝で 3 部昇格決定！

特集

- P.2 ● 心理福祉学部 2011年度心理学部に改組
P.3 ● 経営情報学部 観光経営コース開設

本学部のカリキュラムの内容としては、経営学の基礎・専門科目をベースとしながら、観光経営に特化したカリキュラムを新規開設します。特に、観光特化型科目としては、観光知

経営情報学部では2010年度より、観光サービスに関して高いレベルの知識と専門性を有するとともに、観光経営において創造性を発揮できる人材育成を目標としたカリキュラムを提供しています。

観光学とは、今起きている様々な現象をみる実践的学問です。特に、本学部の観光経営コースでは、基礎的な経営手法を十分に学び、普遍的な知識を身につけた上で、専門的なマネジメントをする人材を育成します。観光と関わるビジネスは、宿泊産業、旅行産業、航空を含む運輸関連産業だけではなく、飲食業、ブライダル産業、最近注目され始めた医療観光まで、多くの業種からなる裾野の広い産業です。観光立国の実現は、国や地域経済の発展にとって重要な課題となりました。教育機関においても多方面にわたって観光産業に限らずサービス産業全般で活躍できる人材育成が求められています。

観光サービス創造人材育成に向けた経営情報学部の新展開

観光サービス創造人材育成に向けた経営情報学部の新展開

識と経験についてより深く理解するため、観光ビジネス現場で活躍する方々による授業も実施します(例：近鉄グループによる講義)。4年間の段階的履修モデルを提案し、

1年目 基礎

2年目 専門

3年目 実務・専門性の特化

4年目 進路の決定・発展

という大きな枠の中で、より理論と実践を両立させるコースとして体系化します。

今後観光教育において、国際性や多文化性という観点からみていくことが必要となり、それを果たさせるために「創造性」がカギとなります。私たち観光経営コースの教員陣も、国際性や多文化性をさらに促進することにも、学生のみならずの柔軟な発想を育てる環境を作るよう努力します。



姜 聖淑 准教授

かん せんすく 帝塚山大学経営情報学部・准教授(観光経営コース担当) 2006年立教大学大学院観光学研究科博士後期課程修了(観光学)取得。京都大学大学院、和歌山大学などの勤務を経て、2010年度より本学経営情報学部に着任。専門は、ホスピタリティ・マネジメント、サービス人材論。

帝塚山大学 心理学部心理学科の紹介

学部長 蓮花 一己

れんげ かずみ 帝塚山大学心理福祉学部・教授 1981年大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学。1987年帝塚山大学教育学部講師。2004年より現職。博士(人間科学)。専門は交通心理学で、とくに高齢ドライバー研究、ハザード知覚、リスクテイキング行動、事故分析、運転者教育分野に従事。主な著書は、『交通行動の社会心理学』(編著、北大路書房)、『交通危険学』(著書、格正社)など。

きめの細かい教育

心理学部は、2004年度に誕生した心理福祉学部から改組されて2011年度からスタートする新学部です。

心理学部心理学科の教員は12名で、学科定員は100名となる予定です。教員数に比べて学生数が少ないので、いわゆる「きめの細かい教育」ができるようになります。入学直後に恒例の合宿オリエンテーションを泊二日で行い、先輩学生10数名と教員全員が一緒に最初の大学生活への導入プログラムを実施しています。

バランスのとれた

心理分野の構成

学科カリキュラムは「実験心理分野」、「臨床・発達心理分野」、「社会・応用心理分野」、そして新たに「健康・スポーツ心理分野」の4領域から構成されています。さらに、いずれの分野にも関わる共通スキルとして「カウンセリングスキル」を置いて、すべての学生がカウンセリングの基礎



的な理論と技法を身につけることができるようにしました。カウンセリングは今後あらゆる職業人や社会人に必要な資質であると考えられており、その育成に力を入れています。

フィールドでの研究と活動の実践

帝塚山大学・心理学部のモットーは「体を動かして、心を知る」です。心理学科と大学院臨床社会心理学専攻では、帝塚山大学「こころのケアセンター」とともに、さまざまなプロジェクトに取り組みしています。学生には、キャンパスの内部で、あるいはキャンパスから出て、本物のフィールドで、実験や調査、観察、ボランティアや実践活動

アフターケア

卒業生の多くが心理専門職として、あるいは企業人・公務員として、活動を開始しつつあります。今後これらの卒業生へのアフターケアに力を入れていきます。京阪奈地域での帝塚山大学・学園のネットワークを活用して卒業生が活躍できる場を創造したいと考えています。

をさせるようにしています。

駅に近い
学園前キャンパスは近鉄奈良線学園前駅に直結しています。駅の改札口から大学正門まで徒歩1分、2分の距離で、通学の便が良いことが特徴です。レポーターの作成で遅くなってもすぐに電車で乗れます。

優れた指導陣による
多様な研究テーマ
心理臨床分野のイカを
用いた動物介在活動、産業調査やケアの活動、アドベンチャー・カウンセリングなどの実践活動などに力を入れています。奈良や生駒市の中学校でのスクールサポーター活動も行っています。実験心理や社会・応用心理分野でも、知覚分野での判断過程の研究、脳神経科学での疲労研究、社会心理学での恋愛意識・対人行動研究、応用心理学での高齢ドライバー研究など、各分野のエキスパートによる研究テーマは多彩です。優れた指導陣がその研究を支えており、ゼミナールや卒業研究ですべての学生は教員と一緒に研究を進めることができます。

心理学部のココが強み!

関西地域や中京地域での大学院や研究所との連携

心理学部応用心理学研究室では、高齢ドライバーの調査研究で中京大学や大阪大学の研究室と共同で調査を実施。また、京阪奈学研都市の国際電気通信総合技術研究所(ATR)や兵庫県福祉のまちづくり研究所なども高齢者の調査や自転車利用者調査を実施しています。

心理学検定実施による基礎学力の向上

2010年度より、日本心理学会連合主催の心理学検定の合格を目指し、団体受験や各種勉強会を実施。その取り組みの中で基礎学力の向上を目指します。

地域福祉学科学生のサポート

2011年度入試より地域福祉学科は募集停止となりますが、在学生および卒業生に対しては、ボランティアルームでの活動や、資格取得に向けての積極的サポートをはじめ、心理学部・心理福祉学部一体となってこれまでと変わらない教育、サポートに努めます。

(例) ガイドヘルパー養成講座の実施

心理学の総合的な学びの充実 健康・スポーツ心理分野を新設

従来の「実験心理分野」、「社会・応用心理分野」、「臨床・発達心理分野」に加えて、新たに「健康・スポーツ心理分野」に関わる科目群(「健康心理学」、「スポーツ心理学」、「メンタルトレーニング論」、「感情心理学」)を設置しました。

カウンセリングスキルの重視

「カウンセリングスキル」を学部学生全員への共通スキルとして重視。「カウンセリング論」「カウンセリング実習」「グループカウンセリング実習」「アドベンチャー・カウンセリング」などの科目が充実しています。

現代GPによるフィールドでの実践活動への学生参加

2006年に文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に、「心のケアとサポート」人材養成と自立支援一地域の活性化と安心・安全な社会の創造のための実践的教育」が採択され、様々な取組を実施。生駒市小中学校や交野市小学校でのスクールサポーターや不登校支援、アドベンチャー活動、職業人へのストレス調査やメンタルサポートの取組など、多数のフィールドで実践活動や研究活動を行っています。また「こころのケアセンター」では軽度発達障害の子どもと保護者へのグループワークを展開し、多くの学生や大学院生がサポーターとして参加しています。

詳細はこちら: 『こころのケアとサポートの教育』大学と地域の協働(蓮花一己、三木善彦編集、帝塚山大学出版会)

近鉄グループによる講義 「観光ビジネス入門」 9/30(木)から開講

鉄道ビジネス、旅行ビジネス、宿泊ビジネス、娯楽ビジネス、文化ビジネスの第一線で活躍されている方を講師にお招きして、観光ビジネスに必要な基礎知識を習得します。

回数	テーマ	主な内容
第1回	鉄道と観光ビジネス	鉄道事業戦略とその中の観光ビジネスの位置づけ及び発展を学ぶ
第2回	観光ビジネスガイダンス	観光ビジネスの中核をなす交通業、宿泊業、旅行業と観光資源について全体的な概要を学ぶ
第3回	鉄道事業	鉄道事業の特性と今後の方向性及び観光特恵を中心に観光輸送の特性を学ぶ
第4回	鉄道事業と沿線観光資源開発	沿線の観光資源開発のための鉄道事業者の取組を学ぶ
第5回	バス事業	バス事業の特性と今後の方向性及び観光地でのバス輸送と観光バス事業を学ぶ
第6回	旅行ビジネス	旅行ビジネスの仕組み及びインターネットの発展の中で旅行ビジネスがどう変わっていくかを学ぶ
第7回	国際旅行ビジネス(海外観光誘致ビジネス)	国際旅行ビジネスと国内旅行ビジネスの違い及び国際旅行ビジネスの将来動向を学ぶ
第8回	会員制旅行ビジネス	中高年をターゲットにした「旅の友」組織を活用したクラブツーリズムの会員制旅行ビジネスについて学ぶ
第9回	ホテルビジネス	ホテルビジネスの概要及びホテル経営のポイントについて学ぶ
第10回	リゾートホテルビジネス	リゾートホテルの特性及びリゾートホテルをモデルとしたリゾートホテル経営のポイントについて学ぶ
第11回	リゾート開発事業	伊勢志摩リゾート開発をモデルにリゾート開発事業の特性について学ぶ
第12回	テーマパークビジネス	志摩スペイン村をモデルにテーマパークビジネスの特性について学ぶ
第13回	旅館ビジネス	賢島宝生苑をモデルに旅館ビジネスの特性について学ぶ
第14回	文化事業	鉄道会社の中での文化事業の位置づけと役割を学ぶ
第15回	歴史街道事業	伊勢から神戸まで古代から現代の歴史の舞台をつなげる歴史街道事業について学ぶ

※テーマ、内容については、講師の都合により変更になる場合があります。詳しくは、経営情報学部 学部事務局にお問合せ下さい。

観光経営コース開設記念 日韓茶文化国際セミナー開催 In東生駒キャンパス

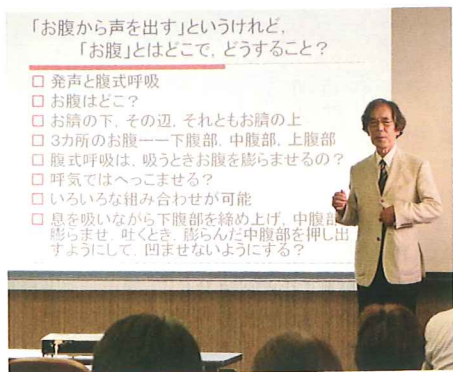
7月23日、経営情報学部では、本年度から観光経営コースが開設されたことを記念して、韓国ウォンガンデジタル大学と共催で、茶の湯のマナーから、おもてなしの心を学ぶことを目的に、日韓茶文化国際セミナー「日韓国際茶の湯のおもてなし」を開催しました。

セミナーでは、落合副学長及び、国際茶文化学会理事長 兼 ウォンガンデジタル大学理事長のLee, Jinsoo氏が挨拶。その後、ウォンガンデジタル大学の朴貞姫教授による講演(演題:「江戸時代の朝鮮通信使に対する接遇」)、茶の湯文化学会 谷 晃会長による講演(演題:「日本の茶文化」)、本学の森都夫名誉教授による講演(演題:「平城京に見られる韓半島の要素」)が行われ、約200名の聴講者は、熱心に耳を傾けていました。

講演終了後は、別室にて、日本と韓国のお茶が振舞われ、また、韓国の伝統楽器の演奏なども行われました。参加者等は、日韓の交流を深めるとともに、おもてなしの心について学びました。

★ホームページの経営情報学部 学部ニュースにて、セミナーの様子を公開しています。詳しくはこちら:
http://www.tezukayama-u.ac.jp/faculty/business_administration/





2009年度のFDの取組をFD推進室報告集として、2010年7月に刊行。
教職員に配付するとともに、図書館で学生の閲覧に供しています。

「お腹から声を出す」というけれど、「お腹」とはどこで、どうすること？
□ 発声と腹式呼吸
□ お腹はどこ？
□ お腹の下、その辺、それとお腹の上
□ 3カ所のお腹——下腹部、中腹部、上腹部
□ 腹式呼吸は、吸うときお腹を膨らませるの？
□ 呼吸ではへっこませる？
□ いろいろな組み合わせが可能
□ 息を吸いながら下腹部を締め上げ、中腹部を膨らませ、吐くとき膨らんだ中腹部を押し出すようにして、凹ませないようにする？

FDとは、ファカルティ・デベロップメント (Faculty Development) の略で、大学教員の教育上の質向上のための活動を指し、2007年の大学設置基準改正に伴い、大学においてもFDが義務化されました。本学でも、FD推進室を2002年から設置し、教育内容の改善のために様々な取組を行っています。

FDへの取組

— より質の高い教育を目指して —

行い、参加した約30人の教職員らは熱心にメモを取っていました。

本学のFDの取組

- (1) 両キャンパスから1名の教員が各1回、全専任教員を対象とした公開授業を実施。(年2回)
- (2) 前期と後期の2回に分けて、全教員(専任教員・非常勤講師)を対象に授業改善アンケートを実施。
- (3) 学生を対象に、「授業改善アンケート」を中心に、教育環境全般に意見を聞く学生ヒアリングを実施。
- (4) 全教職員を対象にFD啓発のための講演会を実施。(年2回)
- (5) FD関係の研修会への教職員の参加促進。
- (6) FD推進室報告集(本学のFDの取組についてまとめたもの)の刊行。

2009年度 帝塚山学園特別褒賞金 受給者一覧

(敬称略)

ランク	取得資格・採用試験	学 部	学 科	氏 名
B ランク	CCNP(主要2科目)	経営情報学部	経営情報学科	安藤 昭弘
	TOEIC 750点以上	人文科学部	英語文化学科	高格 日楽園
C ランク	日商簿記1級※	経営情報学部	経営情報学科	穴山 啓太
	CCNA	経営情報学部	経営情報学科	小山 崇
	2級 ファイナンシャル・ プランニング技能士	経営情報学部	経営情報学科	中西 晶大
		経済学部	経済学科	蒲原 美穂
		経営情報学部	経営情報学科	ティ ヨウ
		経営情報学部	経営情報学科	廣田 早容
		法政策学部	公共政策学科	大塚 佳織

ランク	取得資格・採用試験	学 部	学 科	氏 名
C ランク	宅地建物 取引主任者	経済学部	経済学科	清水 将裕
		経済学部	経済学科	野村 俊輔
		経営情報学部	経営情報学科	松山 兼多
		法政策学部	ビジネス法学科	藤原 大輔
		法政策学部	公共政策学科	池田 孝
		現代生活学部	居住空間デザイン学科	三宅 妃美子

褒賞金の対象となる資格・試験及びランクは、毎年度見直されます。
(※2010年度よりBランクに変更)

2010年度 帝塚山学園特別褒賞金 対象資格一覧

ランク	取得資格
Aランク 支給金額：50万円	(1) 公認会計士(補) 資格取得 (2) 国家公務員I種 合格 (3) 税理士 資格取得 (4) 司法書士 資格取得 (5) 弁理士 資格取得
Bランク 支給金額：30万円	(6) 応用情報技術者 資格取得 (7) 教員採用試験(都道府県)(中高) 合格 (8) 地方公務員上級 (都道府県・政令指定都市・東京都特別区) 行政職 合格 (9) 国家公務員II種 合格 (10) 国税専門官試験 合格 (11) 税理士(累積2科目以上) 合格 (12) CCNP(主要2科目) 合格 (13) 情報セキュリティスペシャリスト 資格取得

ランク	取得資格
Bランク 支給金額：30万円	(14) 日商簿記1級 合格 (15) 中小企業診断士 資格取得 (16) 社会保険労務士 資格取得 (17) 行政書士 資格取得 (18) 不動産鑑定士 資格取得
Cランク 支給金額：10万円	(19) 宅地建物取引主任者 資格取得 (20) 基本情報技術者 資格取得 (21) 2級ファイナンシャル・プランニング技能士 (22) TOEIC 750点以上 得点 (23) CCNA 資格取得 (24) 通関士 資格取得

※上記資格と同等以上と認められた資格を取得するか、試験に合格した場合も褒賞金を支給することがあります。詳細は「帝塚山学園特別褒賞金受給者推薦に関する内規」(学生手帳に記載)を参照してください。

表彰関連

2010年度の特別奨学金受給者を別表のとおり決定し、東生駒、学園前両キャンパスで表彰式を行いました。これは「帝塚山学園特別奨学金制度」に基づくもので、1年次生は入学試験成績の上位10%以内の学生、2年次生以上は前年度の成績が上位5%以内の学生が表彰され、奨学金が支給されるものです。今年度は215名の学生が選ばれました。

その他にも各学部では、前年度の成績が優秀であった学生等をそれぞれ表彰し、各学部長らが表彰式で栄誉をたたえ、懇親会にて親睦を深めました。

また本学では、2009年度の帝塚山学園特別褒賞金を、15人の学生に支給しました。これは本学の学生で、在学中に公的資格等取得するなど優れた実績をあげた学生を表彰し、一層の研鑽を奨励することを目的として帝塚山学園が、褒賞金を支給する制度です。

特別資格サポート制度

特別資格サポート制度は、2009年度に新設した制度で、学内成績の優秀な2年次生以上の学生を対象に、学外提携校で難関資格取得を目指す者に対して助成するものです。

今年度は、この制度を利用して6人の学生が特別受講料で学外提携校の講座を受講しています。受講生の内訳は次のとおりです。

- 公務員(国家I種・地方上級) 3名
- 対策講座 2名
- 税理士(2科目合格)対策講座 2名
- 公認会計士基礎講座 1名



2010年度 帝塚山学園 特別奨学金 受給者一覧

(敬称略)

1年次生				2年次生				3年次生				4年次生			
学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名	学科	氏 名
日本文化	河 文子	心理	川畑 真実	日本文化	石王丸 香保	ビジネス法	西田 凌	日本文化	加藤 里奈	ビジネス法	池野 愛美	日本文化	江木 淳人	ビジネス法	野元 えりか
	田井 梨紗		桑原 崇		上野 真奈		吉岡 健次朗		木村 真純		山村 友		大岡 菜美		古澤 嘉寛
	松下 真理		西原 彩希子		永楽 万喜		XUE MINGMING		小林 加奈		WANG SHIXIN		梁田 明日香		三橋 正隆
	横田 久明		浜本 圭介		演野 勇		WANG YAN		静川 真代		ZHONG MEILING		BAI GERILETU		吉田 一智
英語コミュニケーション	魚尾 千鶴	英語コミュニケーション	山本 充	英語コミュニケーション	春田 千尋	公共政策	上野 千佳	英語文化	谷川 翠	公共政策	梅崎 千尋	英語文化	QIBURIHASI	公共政策	ZHANG HONGMEI
	平田 奈南		進藤 江理		金 芳明		田中 麟太郎		岡崎 梓紗		左近 華子		北村 純子		FENG MING
	服部 みゆ		井上 友梨子		小山 弥生		田中 美帆		原 綾加		田中 裕基		横部 愛子		池田 孝
	清水 啓太		戎井 舞		濱 千尋		根谷 麻宜		吉田 恵子		柳瀬 未来		DU BEINI		奥野 崇裕
経営情報	竹内 三由希	経営情報	高知 美幸	経営情報	松永 紗也加	心理	大隅 沙笑	英語文化	QIN JINGHONG	心理	桜井 一穂	英語文化	DU JIHUI	心理	田附 英季
	内藤 優輔		橋田 昌吾		ZHANG LIZHU		大畑 悦子		RAJEPANSE JOHN ERIC OU		平井 みどり		SIQINBATEER		橋尾 健太
	中塚 為朝		弓削 蓮蔵		市木 涼		齋藤 彩		入江 晋		松木 未来		浦井 雅考		前阪 圭佑
	福永 悠希		青山 聡志	地域福祉	梅本 美冬	地域福祉	東出 尚子	経済	谷口 沙央梨	地域福祉	三原 花菜	経済	笹井 聡	地域福祉	宮内 亜友
法	衛藤 幸子	地域福祉	扇田 真希		奥 秀樹		柏木 優佑	経済	藤井 孝次	食	小石川 侑太	経済	清家 康仁	食	上田 陽子
	津山 愛実		平野 詩織		喜多 晃子		服田 将史	経済	森本 貴之	食	篠原 奈津希	経済	高松 紀之	食	須上 亜衣
	二階堂 祥子	食生活	飯田 旭	食生活	木下 亜紀子	食生活	WU XIULING	経済	吉原 史彬	食	芝岡 杏菜	経済	西野 拓真	食	中島 安紀子
			乾 志於美		阪口 竜一		河野 霞	経済	ZOU JIANG	食	新井 菜摘	経済	WANG CHANGQING	食	中原 正夫
			亀山 智志	食生活	住吉 祐樹	食生活	齋藤 真由子	経済	CHEN HENGMING	食	伊庭 亜由美	経済	QUAN CHUNMEI	食	中林 歩未
			高部 春菜	食生活	中野 麻惟	食生活	島田 渚	経済	ZHENG DAWEI	食	小林 優希	経済	ZANG LIYUAN	食	林 美里
			飛松 美帆	食生活	柊本 京介	食生活	高寺 淳史	経済	MA PING	食	笹岡 幸代	経済	ZHANG JINGJING	食	HU XIAOHONG
			森田 恵理子	食生活	吉田 昌幸	食生活	竹橋 美幸	経済	YANG XIANGYING	食	中北 麻紀子	経済	ZHANG LEI	食	青沼 希美
				食生活	ZHU JIAMING	食生活	西田 留里子	経済	LI HONGGUANG	食	長澤 未希	経済	CHENG YAN	食	浅田 裕子
		食生活	小酒井 達也	食生活	田口 尚樹	食生活	生方 渚	経済	太田 佳香	食	植田 美香	経済	石川 達也	食	井上 佳南
			寺浦 恵利佳	食生活	橋川 郁也	食生活	奥田 綾花	経済	多田 広和	食	黒松 祐子	経済	岡田 直次	食	計良 美希
			松井 博志	食生活	松田 友梨奈	食生活	森原 愛	経済	田縁 俊也	食	三宅 妃美子	経済	高村 達也	食	堀 真里奈
			宗兼 みなみ	食生活	吉岡 瑛	食生活	磯島 理恵子	経済	丹治 文男	食	村井 一弘	経済	西野 春香	食	山條 こなつ
		食生活	ISHWARI DANGAL	食生活	CHEN JIANMEI	食生活	小林 直美	経済	JIN CHUNHUA	食	小松 菜々子	経済	山本 彩加	食	佐伯 麻貴
			DINH THI NGOC TRAM	食生活		食生活	小牧 菜々子	経済	WU ZHANGLI	食	野原 実樺	経済	XUAN HUIYING	食	砂原 友里枝
				食生活		食生活		経済	WU ZHENZHEN	食		経済	XU YAN	食	YAN YAN
				食生活		食生活		経済	FANG ZHIXING	食		経済	LIN HONG	食	
				食生活		食生活		経済	LIU DAN	食		経済	LI CHUNHONG	食	
				食生活		食生活		経済	YU JING	食		経済	LIN FENGQIN	食	

質の高い教育を目指して

GPシンポジウム開催
本学取組について実践報告を行いました。

帝塚山大学の優れた教育取組は、文部科学省からも高く評価されており、GP等多数の支援事業に選ばれています。それらの取組について、報告会を行いました。

まず、3月3日、学園前キャンパスにて、「長期インターンシップ・プログラムの現状と課題」と題して、2006年度に「産学連携による実践型人材育成事業」に採択された本学の取組「マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成」について、シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、法学部の高榮淳教授のほか、他大学で同事業に取り組んでいる立教大学の山中伸彦教授、名古屋工業大学の松井照幸長期インターンシップ担当人材育成マネージャー、大阪工業大学の宇佐見弘文教授らが、各大学における実践報告や提案を行いました。また、「インターンシップモデル産業連携や文理融合の観点から」と題したパネルディスカッションでは、参加者間で活発な議論が行われ、学生の将来について考えました。

3月9日には、東生駒キャンパスにて、2008年度教育GP（質の高い大学教育推進プログラム）に採択された本学の取組「学生の学力・人間力・社会力の養成～e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して～」について、シンポジウムを開催。文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長の玉上晃氏が来学し、教育GPの重要性を強調しました。その後、本学の取組について、経済学部の中嶋航一教授と岩井洋教授が報告を行い、質疑応答においては、今後のeラーニング及びeポートフォリオの可能性について討議しました。



※GP…Good Practiceの略。大学教育の改善に資する様々な取組のうち、今日まで継続的に実施し、実績を挙げている優れた取組を選定し、文部科学省が支援する事業。

地域に開かれた大学を目指して

大阪府と共催で
公開講座を開催しました。

大阪府との共催で5月14日～28日の間、心理福祉学部／同大学院産業心理領域の森下高治教授のコーディネートのもと、「ストレスとのつきあい方」をメインテーマに、毎週金曜日に3回にわたって公開講座を実施し、約100人の一般の方々が参加しました。講義には、一般の方だけでなく、臨床心理に関する仕事に携わっている方々も参加し、「カウンセリングの先生の話し方としてすごく参考になった」「自律訓練でストレスを解消できる方法がわかってよかった。日ごろの生活に役立てたい」などの声が、多数寄せられました。

5月14日

「ストレス社会をどう生きるかーカウンセリングからのヒントー」
講師：森下高治教授
本学大学院生の西澤由香さんが太極拳「ふあんそん」を指導しました。

5月21日

「メンタルヘルスケアーセルフトレーニングのすすめー」
講師：鹿野麗子氏
本学大学院（2010年卒業）の鹿野さんによる講義。大学院生野田智美さんもロールプレイングを実演しました。

5月28日

「楽しいチームビルディングーここちよい関係づくりー」
講師：宮川治樹准教授
ペアワークで心地よいコミュニケーションの取り方を実践。最初は緊張していた参加者も、すっかり打ち解け、最後は笑顔と笑いが会場を包みました。



学部・学科の 話題

各学科の取組やその他話題は、HPで紹介しています。

詳しくはこちら <http://www.tezukayama-u.ac.jp/faculty/> 気になる学部をクリック!!

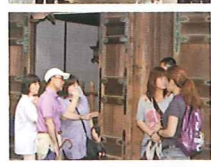
英語コミュニケーション学科

生きた観光英語を学ぶ

英語コミュニケーション学科では、観光英語研究Aの講義で、奈良の観光名所についての説明を英語および日本語双方で行う、臨地講義を行っています。

7月3日には、東大寺で臨地講義を行いました。学生たちは、鎌倉時代に再建された日本最大の山門、南大門をくぐり、大仏殿、二月堂など世界文化遺産について、同学科の小坂教授及び、「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」修了生による英語と日本語の説明を聞きながら順路を進み、観光案内に使う英語を実践的に学びました。

この講義では、観光英語3級の取得を目標にしています。



経済学科

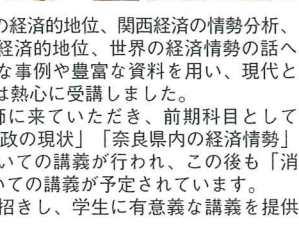
財務省近畿財務局長による 特別講義を実施

6月4日、経済学科では、「経済学特殊講義（金融・財政の現状）」において、財務省近畿財務局長の森川卓也局長による特別講義を実施しました。

「関西経済と日本・世界」というテーマのもと、関西の経済的地位、関西経済の情勢分析、各府県連携の動きに関する話から、世界の中の日本の経済的地位、世界の経済情勢の話へと至りました。最近の日本の財政事情を含め、具体的な事例や豊富な資料を用い、現代という時代をわかりやすく講義して頂き、約70名の学生は熱心に受講しました。

本講義は、近畿財務局から、毎回、専門分野の講師に来ていただき、前期科目として2006年度より開講しているものです。4月以降、「日本財政の現状」「奈良県内の経済情勢」「災害査定制度」「公正な証券市場の確立」などについての講義が行われ、この後も「消費者問題」「金融情報」「国有財産の活用」などについての講義が予定されています。

経済学科では、今後もさまざまな分野から講師をお招きし、学生に有意義な講義を提供していきます。



日本文化学科

学外実習 古代瓦作りを体験

5月30日、日本文化学科では、古代瓦作りの学外実習を行い、約50名の学生が参加しました。

実習の場所として選ばれたのは、世界文化遺産の唐招提寺や、東大寺等の瓦の修復を担当し、日本伝統瓦の復元製作の第一人者である山本瓦工業平群工場です。学生たちは、山本瓦工業の職人の方々の実演を見ながら、古代瓦の歴史や、その特徴、作り方について教わり、その後、自分たちが古代瓦を作りました。

古代瓦作りを通して、学生たちは、機械化が進む現代では、50年前に作られていた瓦の作り方をささげに包まれている現状を見聞きし、古代の瓦を復元することの難しさと、「技術の伝承」の重要性を学びました。



古代瓦の作り方について説明する文化庁認定日本伝統瓦技術保存会 山本清一会長



初めての古代瓦作りに奮闘する学生たち

「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」 修了生が学術講演会にて通訳を担当しました



本学が実施する文部科学省委託事業「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」第2期修了生の高岡修史氏が、3月6日、帝塚山大学奈良学総合文化研究所が主催する学術講演会「山形省の仏教美術ー白龍寺の発掘成果を中心にー」において通訳を担当しました。

本講演会は、山形省文化考古局、山形省文化考古学研究所、チューリッヒ大学との合同調査に参加し、発掘調査を進めてきた専門家であるロンドン大学のルーカス・ニッケル氏を同研究所がお招きして、その合同調査を実施した「白龍寺」の寺院址の発掘調査概要と山形省の仏教美術について講演いただいたものです。高岡氏は、英語での講演を激みなく通訳し、英語と日本語が飛び交う質疑応答で締めくくられた講演の最後には、ルーカス氏と高岡氏の2人に参加者から惜しみない拍手が送られました。

保護者との連携

大学後援会総会 ファミリークラブ総会を開催しました。

2010年度大学後援会総会が5月22日、東生駒キャンパス6号館にて開催されました。

大学後援会では、在学生の保護者の皆様で組織していただいております。当日は約200人の会員の方々が出席されました。総会では、小川後援会会長、山本学長、後援会OB組織であるファミリークラブの岡島会長の挨拶に引き続き、2009年度の決算、2010年度の役員人事、予算等の審議が行われました。役員人事では、吉田正史氏が新会長に選出されました。

また、午後からは、奈良の魅力を知るとともに、帝塚山大学についての理解を深めていただくことを目的に、学外見学会を行いました。

学外見学会は、世界文化遺産「古都奈良の文化財」に登録されている法相宗大本山で南都七大寺の一つである「薬師寺」を訪ねるグループと、本年4月に本学特別客員教授に就任いただいた寺島実郎氏の特別公開講座を聴講するグループに分かれて実施しました。

なお、同日に卒業生の保護者の皆様で組織していただいている、帝塚山大学ファミリークラブの総会も開催され、学外見学会は、大学後援会との合同実施となり、充実した一日を過ごしていただきました。

「薬師寺」では、人文学部の関根教授、戸花講師の案内のもとに、安田暎胤長老様の法話、玄奘三蔵院伽藍や白鳳伽藍の見学などを行いました。寺島実郎 本学特別客員教授の特別公開講座では、「世界の構造転換と日本」と題した講義で、世界経済の動きと日本の進路などについて学びました。



平成22年度 帝塚山大学後援会総会

先生の専門は、言語・認知発達心理学とありますが、講義ではどのようなことを教えていらっしゃるのですか？

保育内容（言葉）という講義を担当しています。言葉の習得には、音声の知覚、人との関係や、モノの世界を認識する能力、音声を表出するために、咽喉や口腔の形をいろいろに変化させることが必要で、細かい筋肉を使う運動が必要で、細かい筋肉を使う運動がもたらす関係性について、認知領域や運動領域などそれぞれの領域が統合されたものが、言葉の発達の基盤になるので、乳児期から、言葉を発して文法を習得するまで、どのような発達過程があるのか、そのためにはどのような能力が必要でどのような働きかけが必要かを講義しています。また、保育士になる人はどのような活動や教材を使ってどのような働きかけをして、保育を進めていけばよいかを教えています。

今年からは、障害児保育も担当します。聴覚・知覚障害、ADHD（注意欠陥・多動性障害）などの発達障害児や、人間関係を築くのが難しい自閉的な子どもたちにも焦点をあて、各障害がどのように発達に影響しているのか、子どもたちの発達を保障するためにどのような療育、保育、教育が必要かを教える予定です。（後期からなのでまだ教えていません）

先生が、この分野に進まれるようになったきっかけについて、教えてください。

大学が原点ですね。私は奈良女子大学で、大学と修士課程までを終えました。そのときに言語発達について研究をしている村田孝次先生に出会い、言語発達に興味を持ちました。

また、島根大学に勤務していたとき、障害児の研究室に所属し、自治体の乳幼児健診後の要フォローの子どもの「発達クリニック」で、発達相談員として関わった経験も大きく影響しています。その時に、子どもの言葉の発達の遅れについての相談を多く受けました。そこで、適切な助言を与えられるためには、初期言語発達の過程とその基盤を知ることが大切と考え、定型発達の子どもの非定型発達の子どもの言語発達研究に着手しました。

研究対象が子どもですが、やはり子どもが好きなんでしょうか？

かわいいと思うし、色々な可能性を秘めているところに、強い魅力を感じています。そして、言葉は人間しか獲得できませんが、言葉の発達には、乳児期を中心に発達していきます。その言葉がどうやって習得されるのか、その言葉が出ない場合は何が問題なのか、非常に興味があります。

先生の研究を通して、保育士を目指す学生に対して、アドバイスをお願いします。

保育では、子どもにより合った働きかけをしていくことが大切です。無理に引っ張っていくのではなく、「応答的環境」とか「随伴的な反応」といいますが、子どもの行動にあった働きかけをし、子どもからの自発的行動を引き出すような働きかけができる保育士になってほしいと思います。

「養育者の働きかけ」とことは発達について、私たちの研究からも、無理に母親が子どもの注意を転換する場面、その子どもの言葉の発達速度が遅いという結果が出ています。子どもの発信しているシグナルを読み取る感受性が必要ですが、そのためには、関わる側の精神的、肉体的な健康、安定が必要で、自分の感情で子どもを動かしては、いけません。

子どもが主役という点で、子どもの自発性、能力の開花につながると思います。そして、環境を整えてあげること大切ですね。モノや人、実際に体験させてあげられるような環境が、子どもの発達には重要です。

最近特に気をつけていることや、注目されていることについて教えてください。

インターネットの発達やマスコミの影響で、情報があふれる世の中になってきました。それに伴い、マスコミの影響やその情報の信憑性について、考える必要があります。最近、脳科学の研究が非常に盛んで、マスコミにも多く取り上げられていますが、一般社会に不正確あるいは拡大解釈的な情報や広がり、科学的には認められない俗説を生じたり、或いは脳科学の信頼性に対する疑念を生じたりする危険性が增大している（日本神経科学学会倫理問題委員会2010年1月提言）ことも知っておいてほしいと思います。

授業で心がけていることを教えてください。

そうなんです。そうすることが、子どもの自発性、能力の開花につながると思います。そして、環境を整えてあげること大切ですね。モノや人、実際に体験させてあげられるような環境が、子どもの発達には重要です。

最近特に気をつけていることや、注目されていることについて教えてください。

トで聞いて、次回にその質問に対して、講義の中で回答するようにしています。アンケートには、授業中に寝ましたか？という質問もあるんですよ。もちろん寝てしまった理由についても聞きます。行動の裏には必ず理由がある。その理由を知り、相手を理解する。子どもに接するときと同じですが、非常に大切なことだと思います。

来年からいよいよ3年生のゼミが始まりますね。どのようなゼミにしたいですか？

学生には、まずは、自分が興味をもったことを掘り下げていってもらいたいと思います。

例えば、絵本について研究したいという学生がいれば、どういう絵本があるのか、どんな絵本が魅力的なのか、お母さんや保育士さんが言語・非言語でどのような働きかけをしているのかなど、研究の切り口は沢山あります。現在の1年生基礎ゼミでも、自分が関心をもっていることについて、図書館、インターネットで情報を収集させ、パワーポイントを作成して発表をしてもらい、「学びの技法」の学習もしています。基礎ゼミでは、子どものおやつとか、離乳食とか、いじめ、虐待、絵本、子どもと音楽など実に多様な興味を学生はもっていました。3年生からの卒論のゼミは、ことばや社会性などの発達に関心がある学生と一緒に、いま、科学研究費補助金ですべての赤ちゃんと研究の観察や実験に参加してもらいたいと思っています。

最後2年生へメッセージをお願いします。

と他者は異なる存在であるが、同時に他者と共有・共感することが大切です。あと大学なので、学ぶということにも貪欲になって欲しいですね。自分自身の人生を振り返っても、学生時代にもっといろいろなことに挑戦しておけばよかったと思うことがあります。何事でもある程度できると、それなりに楽しむことができます。語学、スポーツ、音楽などあらゆる分野に挑戦してください。

学生時代の経験が、後の人生に大きな影響を及ぼしますから。

小椋先生、ありがとうございました。

大学院紹介

日本の歴史を顧みる

奈良は伝統文化の宝庫



大学院人文科学研究科長
人文科学研究科日本文化専攻
関根 俊一 教授

日本の伝統文化は、長い歴史の中で培われ、今日に至っています。真の国際人として活躍するには、まず自国の文化に理解・愛着を持ち、その上で他国の文化にも敬意を払うことが、基本姿勢として不可欠といわれます。本研究科には、日本の伝統文化を総

合的かつ体系的に究明し、日本人とは何かという問題を解明すべく、食欲に研究に打ち込む学生の活気であふれています。とくに歴史学、考古学、民俗学、美術史学のいずれかの領域を自らの研究の基盤としますが、本研究科のユニークな点は、目指す領域の深化はもちろん、関連の豊富な周辺領域の講義・演習を学修しながら、縦横無尽に対象に向かう方法を取り入れ、スケールの大きな研究が進められるところにあります。

本学が立地する奈良は、日本屈指の伝統文化の宝庫であり、かつては国際交流の最前線でもありました。この抜群の環境で、調査・研究の基礎を徹底的に養うことで、若手研究者としてのしっかりとした素地が形成できます。本研究科では、「奈良学特論」という、様々な分野の専任教員と院生がともにフィールドワークを行う学外演習科目も設け、積極的にサポートしています。

博士の学位を取得する学生はもちろん、博物館や各地の教育委員会、大学教員等が活躍する修了生も増えています。皆さんの知的欲求を満たす充実した研究生生活に踏み出してみませんか。



大学研究所蔵資料紹介

狂言面「乙（おと）」

自ら笑い、
笑いを誘う狂言面

帝塚山大学大学院
人文科学研究科博士前期課程1年

中井 翔

日本の伝統芸能の一つである狂言は、能狂言ともいわれ、能楽とは切っても切れない関係で、能楽と深い関係にあります。しかし狂言は仮面劇が基本の能楽と違い、素顔で演じる直面を基本としていて、狂言面の種類も少なく希少です。女役には白布の美男髪をつけますが、面をつける場合は醜女や老女など限られます。他には、

大黒や恵比寿や鬼など神性を持つ存在や、犬や猿など動物の類に面は用いられています。

写真は狂言面の乙に分類される面、制作時期は不詳ですが、乙の面は醜女に用いられることが多く、「業平餅」では、色男の業平に逃げられてしまいう醜女に、「釣針」では、逃げた冠者を、どこまでも追いかける醜女に

民俗よもやま噺し

重陽の節供

帝塚山大学評議員 元・帝塚山大学学長
国立歴史民俗博物館名誉教授 文学博士

岩井 宏實

旧暦九月九日は重陽の節供。一月一日の元旦、三月三日の雛節供（桃の節供）、五月五日の端午の節供（菖蒲の節供）、七月七日の七夕（星祭）と合わせて「五節供」とされている。古来、月の数と日の数と同じであることを「重九」といって、幸ある日とされた。「重九」は九を重ねた芽出度い日で「重九」ともいう。また「九月節供」「菊の節供」「栗の節供」とも呼ばれる。菊は九月の季節の花で、栗は九月の季節の生

物である。

平安時代の宮廷では「重陽の儀式」が重要視され、天皇が紫宸殿または神泉苑に出御して、宴を張り、群臣とともに詩歌文章を朗詠され、これを「菊盃宴」「菊花宴」と呼ばれた。また「菊合」と称して菊を題した歌合も盛んに催された。

江戸時代になると「菊合」は実物を競べ合う行事となり、大名の間では菊の品評会も行われた。そこから菊の栽培

が盛んになり、あちこちに菊の名所ができ、菊人形なども作られ、その催しが季節の恒例行事ともなった。そして民間ではこの日また、床の間には菊の花を生け、栗飯を食べて祝う風がある。

●著者の最新本●

奈良和の社会史点描
岩井 宏実
2,310円（税込）



日本総合研究所 理事長 寺島実郎氏 帝塚山大学 特別客員教授就任 特別公開講座を開催

政治・外交・経済問題などを多方面で論じている寺島実郎氏が本年4月に、帝塚山大学の特別客員教授に就任し、それを記念した特別公開講座「世界の構造転換と日本」を5月22日、帝塚山大学学園前キャンパス講堂で開催されました。

本講座には、本学学生、保護者、一般市民ら約500人が参加し、最新のデータに裏付けられた寺島氏の講義に引き込まれ、熱心にメモを取っていました。

寺島氏は、講義の中で、世界経済と日本の貿易構造に触れながら、対米関係を考慮した上での日本の今後のアジア戦略の重要性を説きました。また、華僑国家であり中国の成長力をASEANに繋ぐ起点ともなっているシンガポールに注目。人口が少なく、工業生産力や資源産出力もない同国が、バイオ・医療などの技術やシステム、ソフトウェアの研究開発等バーチャルな価値を生み出

す力によって21世紀の新たな国家像を示し、発展していることを紹介しました。最新のデータを駆使した講義に参加者からは、「グレートチャイナ（大中華圏）の様子がよくわかった。」「世界経済の状況を歴史を追って知ることができ、よく理解できた。」などの感想が多く寄せられました。

帝塚山大学では、今秋にも寺島特別客員教授による特別公開講座の開催を予定しています。



寺島実郎氏 経歴

1947年北海道生まれ。1973年早稲田大学大学院政治学専攻修士課程修了、同年三井物産入社。ブルッキングス研究所（在ワシントンDC）出向、米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、三井物産常務執行役員を経て、現在は日本総合研究所理事長、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長。このほか文部科学省・中央教育審議会委員、総務省・グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース国際競争力強化検討部会座長などを兼任。

山本隆宣教授 カナダで特許取得



心理福祉学部 心理学科 山本隆宣教授が、2001年秋に、英国オックスフォード大学の研究者と明治乳業と共同出願していた発明「中枢神経の疲労回復又は予防剤及び疲労回復又は予防の為の食品」が、カナダ政府の特許査定認可されることが決定しました。特許認定により、この発明の抗精神疲労に対する実用化への道が開けます。

山本教授らは、アミノ酸輸送の研究に使うアミノ酸輸送阻害薬が、疲労を強力に抑える働きがあることに注目し、マウスを使った動物実験で、「分岐鎖アミノ酸+アミノ酸輸送阻害薬」を服用したマウスの方が、「分岐鎖アミノ酸」のみ服用したマウスに比べ、2.5倍以上も疲労が軽減されることを実証しました。

平城遷都1300年について考える 奈良財務事務所主催「平城遷都1300年祭 記念の基調講演並びにシンポジウム」に 千田特別客員教授、伊原経済学部長が参加

6月8日、近畿財務局 奈良財務事務所主催の「平城遷都1300年祭記念の基調講演並びにシンポジウム」が、奈良県文化会館にて開催されました。

第1部では、帝塚山大学の千田特別客員教授が「平城京という物語」と題して、聖武天皇の生涯に焦点をあてながら、平城京遷都の歴史について基調講演を行いました。千田教授のユーモアあふれる講演に、会場からは、笑みがこぼれる一幕も。

歴史の教科書ではわからない平城京の魅力に、聴講者等は聞き入っていました。



また、第2部で行われた嶽釜志津江奈良財務事務所長コーディネートによる、遷都1300年祭が奈良県下にもたらす影響、経済効果について有識者が語るシンポジウムに、伊原豊貴経済学部長が参加しました。

伊原学部長は、平城京跡会場の来場者数や、宿泊者数の動向などのデータについて、経済学者の立場から見解を述べるとともに、1300年祭の成功に向けて、「奈良県民一人ひとりが、「奈良をどうしたいか」ということを考え、平城京の1300年間の歴史の魅力を伝えていくことが重要。」と提案しました。

会場には、市民の方など約100人が同シンポジウムに参加し、各パネリストらの意見をメモに取るなどして、熱心に耳を傾けていました。



帝塚山大学・和歌山県立和歌山工業高等学校 高大連携に関する協定書調印式



協定書を交わす小林美和現代生活学部長（写真右）と西脇英雅和歌山工業高等学校長（写真左）

現代生活学部 居住空間デザイン学科 和歌山工業高等学校と 高大連携に関する協定を締結

4月26日、帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科は、和歌山工業高等学校と、高大連携を目的とした協定を締結しました。

この協定により、和歌山工業高等学校の生徒・教職員は、研修・教科研究の場として、帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科の施設等を利用することができます。

卒業生 紹介

飛鳥保存財団
石田 浩幸 さん
（奈良県立高取高校 高取高等学校）
教養学部 教養学科 2002年卒業

財団法人 飛鳥保存財団 事務局



職場：財団法人 飛鳥保存財団 <http://www.asukabito.or.jp/>
飛鳥保存財団は、飛鳥地方の歴史的風土および文化財の保存と活用をはかると共に、地域住民の生活の向上に寄与することを目的に設立された組織です。また、2008年度には、帝塚山大学と連携協力に関する協定を締結し、地域貢献に取り組んでいます。

「帝塚山大学と飛鳥保存財団の協定の橋渡しをしてくださったのは、森先生^{※1}でした。1年生のときに初めて森先生の講義を聴講した時には、思いもよらなかったことで、今でもその光景を懐かしく思い出します。」そう語るのは、2002年教養学部^{※2}を卒業した石田浩幸さん。

石田さんは、飛鳥保存財団で、提携大学とのウォークや駅前美化活動、講演会などのイベントの企画から運営までを担当しています。申請書類や関係機関との調整など、実施に至るまでの準備が大変ですが、その分イベントが成功し、参加者から感謝の手紙やお電話を頂戴すると、次のイベントに向けてのエネルギーにな

るそうです。

飛鳥保存財団で働き始めた頃を振り返り、「職員になって初めて教えてもらったことが、「ほう・れん・そう」。基本的なことですが、外部の人と関ることが多い分、本当に重要です。職場内での「報告」・「連絡」・「相談」。これらを常に心がけて仕事をしています。あとは、仕事上飛鳥来訪者の方と接する機会も多いので、「飛鳥に来て良かった」「また来てみたい」と思っていたり、一人でも多くの人に、特に自分と同時代の若い人たちに知ってもらい、実際に足を運んで、日本の原風景が残る『飛鳥』の空気に触れてもらえるような取り組みを考えていきたいと思います。」と今後の意気込みを語ってくれました。

学生時代は、時間を最大限に利用して、休日に友人と車で遠出をしたり、夏休みや冬休みなど長期休暇には、学生の間しか経験できない色々なアルバイトを経験。ボランティア活動も精力的に行い、小学校から続けているボーイスカウトでは、大学に進学してから指導者として活動することになり、その活動は現在も続いています。

後輩へのメッセージとして、「とにかく色々なことにチャレンジしてほしいです。アルバイトにしても、趣味にしても自由な時間があって、なおかつ失敗しても許されるのは学生の間だけだと思いますので。」と、エールを送ってくれました。

お知らせ

9月18日・19日・23日に、帝塚山大学・飛鳥保存財団連携イベントを行います。（P.15参照）

詳しくは財団ホームページまたは大学ホームページをご確認ください。

※1…森都夫名誉教授。当時は教養学部教授として、主に考古学を担当。現在も客員教授・帝塚山大学附属博物館長として本学の教育活動に尽力いただいています。
※2…現代文学部。

職員紹介

学生生活課（東生駒キャンパス） 山崎 緑

東生駒キャンパス学生生活課で日本学生支援機構奨学金の業務を担当しています。奨学生の皆さんとは4年間を通して関わっていくことになりますのでよろしくお願い致します。

皆さん、学生時代に色々な事を体験し、その中で自分が一番楽しいと思えることを見つけて長く続けてください。人生、楽しい時ばかりではなく、辛い時もあります。そんな時、長く続けている事が辛い心を慰めてくれますよ。どうか楽しい4年間を過ごしてください！



学生生活課（学園前キャンパス） 小林 孝次

学生生活課で働いていると、いつも頭によぎる言葉があります。それは「男子三日会わなければ刮目して見よ。」という言葉です。男女問わず目標を持って努力している学生は、日々驚くほどの成長をしています。顔つきも変わっていくのが手に取るようにわかります。

そんな学生が身近で見れること。そんな学生のサポートに携われること。そんなところに仕事のやりがいを感じています。

4年間。どのように過ごすのかはあなた次第です。大学生活には無限の可能性が広がっています。目標をもって前向きに頑張ってください！！



表紙の人

女子バレーボール部

6部からスタートした女子バレーボール部は、毎季順調に昇格しています。魚井監督の指導の下、日々練習を積み重ね、春季リーグでは、開幕以来負けなしの6連勝という輝かしい結果を残し、3部に昇格することが決定しました。

秋季リーグ第3部でも優勝できるよう練習に励む女子バレーボール部へのご声援を、引き続きよろしくお願いします。



【春季リーグ戦 結果】

4/25 (日) ○帝塚山大 3-0 近畿医療福祉大 ●
5/2 (日) ○帝塚山大 3-1 奈良教育大 ●
5/4 (祝) ○帝塚山大 3-1 和歌山大 ●
5/5 (祝) ○帝塚山大 3-0 桃山学院大 ●
5/9 (日) ○帝塚山大 3-0 四天王寺大 ●
5/16 (日) ○帝塚山大 3-0 兵庫教育大 ●

図書館からの お知らせ

図書館では、授業期間中（平日）、午後8時まで開館しています（土曜は午後5時まで）。授業が終わったあとの調べものや、レポート作成のための文献検索に利用することが可能です。

また、今年から学園前分館でも定期試験期間中の開館時刻を東生駒本館と同様、朝8時半からとし、図書館資料を利用できるようになりました。

なお、本館1階には「学習室」（座席数92席）があり、自学自習のための静粛な空間を確保しています。



お知らせ・イベントニュース

Information & Event News

公開講座

※申込受付開始時期:いずれも9月1日以降。詳細は大学ホームページで告知いたします。
詳細はこちら: <http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

帝塚山大学・大阪府共催公開講座 平城京と天皇

※聴講無料 申込不要 各講座先着180名聴講可。
※会場はいずれもさいかくホール(大阪府新館北館1階)にて14:00~15:30
第1回 9月4日(土)
演題:「聖武朝の考古学 一東大寺造営を中心として」
講師:清水 昭博(帝塚山大学 人文学部准教授)
第2回 9月11日(土)
演題:「平城京を造り上げた女帝たち」
講師:甲斐 弓子(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)
第3回 9月18日(土)
演題:「平城京の終焉 一仁心・桓武天皇」
講師:鷺森 浩幸(帝塚山大学 人文学部准教授)

中学生・高校生のための正倉院展講座

※聴講無料 要申込(申込先着順150名)
10月24日(日) 13:30~16:00(講義+正倉院校舎見学)
講師:関根 俊一(帝塚山大学 人文学部教授)
会場:奈良商工会議所

高校教員のための正倉院展講座

※聴講無料 要申込(申込先着順70名)
10月30日(土) 13:30~17:00(講義+正倉院校舎見学)
講師:関根 俊一(帝塚山大学 人文学部教授)
会場:奈良県婦人会館

帝塚山大学 奈良学総合研究所 公開講座 奈良学への招待区

※聴講無料 要申込(各講座申込先着順180名)
※会場はいずれも東生駒キャンパス 6号館6201教室
第1回 10月9日(土) 10:30~12:00
演題:「南都の舍利信仰」
講師:赤田 光男(帝塚山大学 人文学部教授)
第2回 11月13日(土) 10:30~12:00
演題:「豊臣政権と大和」
講師:谷山 正道氏(理科大学 文学部教授 帝塚山大学 非常勤講師)
第3回 11月27日(土) 10:30~12:00
演題:「天の香具山」
講師:村田 正博氏(大阪市立大学 文学部長 同大学院文学研究科長)
第4回 12月4日(土) 10:30~12:00
演題:「奈良時代の折りと“場”」
講師:関根 俊一(帝塚山大学 人文学部教授 奈良学総合文化研究所所長)

【申込・問合せ先】

※はがき、FAX又は、インターネットからお申込下さい。
インターネット 帝塚山大学ホームページ(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>)
から希望の講座をクリック。[申込みフォーム]より必要事項を入力してください。

はがき・FAX ①講座名、②郵便番号・住所、③氏名(フリガナ)、④電話番号・FAX番号・E-mail(あれば)、⑤年齢・性別を明記の上、帝塚山大学 公開講座までお送りください。 ※往復はがき不可

帝塚山大学 企画・広報課 公開講座係
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9192 FAX:0742-48-9030

英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム 受講生募集(受講料無料)

※拝観料、教材費等の実費は別途必要

英語と奈良観光ガイドのスペシャリストを養成する「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」。平成遷都1300年を迎えた今、学内外からの強い要望により本年も実施することとなりました。社会人の皆さま、「学び直し」で奈良の魅力を発信しませんか。
【概要】・実施期間:2010年10月~翌年2月(月~金午前 計120時間)
・講義場所:学園前キャンパス(県内寺社での臨地講義もあり)
●出願資格、手続等の詳細は、
本学HP(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>)をご覧ください。

【問合せ先】

帝塚山大学 英語による奈良観光ガイド養成プログラム推進室
TEL:0742-41-4735(土・日・祝を除く)

イベント情報

帝塚山大学・財飛鳥保存財団共催イベント

イベント in 飛鳥駅前

◇「光の回廊」9/18~9/19
◇現代生活学部 居住空間デザイン学科 植村ゼミ、村川ゼミによる
インテリアファブリックの展示 9/18~9/19
◇吹奏楽部による演奏 9/18
◇茶道部による野点 9/18

公開講座&ウォーキング

※雨天決行 弁当持参 各回定員50名(申込先着順)
※ウォーキングコースは、変更することもあります。
第1回 9月19日(日)「飛鳥を巡る~美術編~」
◇演題 『飛鳥の仏像を巡る』
◇講師 関根 俊一(帝塚山大学 人文学部教授)
◇コース 中央公民館~橘寺~弘福寺~岡寺~飛鳥資料館(解散)
◇参加料 1,200円程度(拝観料)※当日お支払下さい。
◇集合時間・場所 10時・中央公民館
◇解散時間・場所 16時半頃・飛鳥資料館
◇タイムスケジュール 午前 講義(中央公民館)
昼食
午後 ウォーク(中央公民館出発~飛鳥資料館解散)

第2回 9月23日(木・祝)「飛鳥を巡る~考古編~」
◇演題 『飛鳥地域古代寺院の多様性』
◇講師 森 郁夫(帝塚山大学名誉教授・帝塚山大学附属博物館長)
◇コース 祝戸荘~坂田寺跡~川原寺~橘寺~亀石~天武・持統陵~
鬼の俎・雪隠~欽明陵~猿石~飛鳥駅(解散)
◇参加料 400円程度(拝観料)※当日お支払下さい。
◇集合時間・場所 10時・祝戸荘
◇解散時間・場所 16時半頃・飛鳥駅
◇タイムスケジュール 午前 講義(祝戸荘)
昼食
午後 ウォーク(祝戸荘出発~飛鳥駅解散)

【申込・問合せ先】

往復はがき又はEメールに、必要事項(住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日)を明記の上、〒634-0138 奈良県高市郡明日香村越13-1
(財飛鳥保存財団 ウォーク係まで Eメール:asukabit@asukabito.or.jp)

帝塚山大学経営情報学部・経済学部・法学部 高校生ビジネス・アイデア・コンテスト

このコンテストは、今年で8回目を迎えるもので、高校生が創造性とチャレンジ精神を発揮して、夢を実現するビジネス作りに挑戦してもらうことで、経済や社会への感心を高めてもらうことが狙いです。新事業、新製品及び新サービスの開発、新ビジネスの開発などのアイデアを募集します。

応募期間:7月16日(金)~10月6日(水)
応募資格:高校生又は高校生を代表とするグループ
応募方法:所定のエントリーシート・応募用紙に記入し、郵送してください。大学のホームページからエントリーシート・応募用紙をダウンロードしてください。

表彰:11月28日(日)
帝塚山大学において表彰を行い、入賞者には賞状および賞品を贈呈して栄誉を称えます。
※入賞者にはプレゼンテーションをお願いします。
賞品:最優秀賞…ノートパソコン
優秀賞…ブルーレイレコーダー
奨励賞…デジタルカメラ
佳作…デジタルオーディオプレーヤー
努力賞…図書カード

【申込・問合せ先(8/10~8/22を除く)】

帝塚山大学インキュベーション・プロジェクトチーム
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9202
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まっぽっくり「親子教室」

親子教室では、各回テーマを設け、本学現代生活学部の教員の指導のもと、親子で遊ぶ快さを実感したり、親同士・子ども同士が交流し、コミュニケーションを深めてもらうための活動を行います。

開催日 講座 講師
8/7(土) 小麦粉粘土って?一緒につくろ! 松尾 純代(帝塚山大学 現代生活学部 子ども学科講師)

10/23(土)	えのぐであそぼ! 都留 進(帝塚山大学 現代生活学部 子ども学科准教授)
12/11(土)	子どもと食生活の基本 吉野 佳織(帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科准教授)
2/26(土)	親子ちょこっと体操 岡澤 哲子(帝塚山大学 現代生活学部 子ども学科教授)

日時:上記日程の13:30~15:00(部分参加可)
場所:帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター
対象:3歳以上就学前までの子どもと親
定員:各回20組
費用:各回200円程度(保険料含む)

【申込・問合せ先】

※各回開催日の1週間前までにe-mail、または電話(火・木・金 9:00~15:00)にて受付します。参加希望日、保護者名、お子様のお名前、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。
FAX:0742-88-6027 E-mail:child@tezukayama-u.ac.jp
〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 TEL:0742-88-6022
帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まっぽっくり

読賣新聞社によるマスコミ講座を開講します【予告】

厳しい就職戦線に向けて、読賣新聞を教材とした就職対策講座を開講します。政治、経済、社会、文化、生活、スポーツ等のテーマを毎回設定。現場の一端で働く記者が、新聞記者ならではの視点でニュースの解説や、新聞の読み方を解説します。詳細は、決まり次第大学ホームページ又はキャリアセンターにてお知らせします。

日程:2010年9月~2011年6月(計10回 1ヶ月に1回開催)
場所:帝塚山大学 東生駒キャンパス
講師:読賣新聞社 大阪本社記者
対象:帝塚山大学・大学院 学生
受講料:無料

【申込・問合せ先】帝塚山大学各キャンパスキャリアセンター

TEL:0742-48-9688(東生駒キャンパス)
TEL:0742-41-4751(学園前キャンパス)

オープンキャンパス

大学のこと、学部のこと、入試のこと、全部しっかり知ってください!
帝塚山大学をあなたの目と耳で体験できるオープンキャンパス。施設見学、体験授業、入試説明…。さまざまなイベントを用意してお待ちしています。友達や保護者の方も誘って参加してください。

今日のごはんはこれ!

現代生活学部 食物栄養学科 ヘルスチーム奈良による 帝塚山大学オリジナル☆ヘルシーメニュー

これらのメニューは、3月13日、奈良県主催の「女性のためのがん予防キャンペーン」の「学生食堂で提供したいヘルシーメニューの発表会」にて、発表されました。

まきまきロール白菜 156kcal

材料(4人分)
白菜……………400g
豚(ロース)……………200g
にんじん……………80g
コンソメスープの素…1個(5g)
塩……………少々
コショウ……………少々

作り方

- 1 白菜は一枚ずつはがしてゆで、水気を切る。
- 2 にんじんは、2.5×2.5×10の拍子切りに切る。
- 3 ①の白菜を広げ、上面に豚肉を広げて塩、コショウし、手前ににんじんを置き、芯にして巻く。
- 4 水300ccにコンソメスープの素を入れて熱しておく。
- 5 鍋に③を隙間なく並べ、④を加えてじっくり煮込んで味をしみ込ませる。

大和マナのサラダ 99kcal

材料(4人分)
大和マナ……………200g
ミニトマト……………8個
しめじ……………160g
ワインビネガー……………25cc
サラダ油……………50cc
塩……………2.5cc
コショウ……………少々
マスタード……………少々
マヨネーズ……………25g

作り方

- 1 大和マナは塩熱湯で固めにゆでて4cmに切る。
- 2 ミニトマトを半分に切る。
- 3 しめじは小房に分けて、かるく電子レンジにかけます。(500~600Wで30秒くらい)
- 4 ソースは②を混ぜ合わせ、フレンチドレッシングを作り、マヨネーズを加える。
- 5 ①~③を皿に彩りよく盛り付け、ソースは別容器に入れて添える。

8SAT 11:30~16:00	8SAT 11:30~16:00	8SAT 11:30~16:00	9SAT 11:30~16:00	11SAT 11:30~16:00	3SAT 12:30~18:00
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------

■は東生駒キャンパス、■は学園前キャンパスで開催されます。※詳細は大学ホームページでご確認ください。

☆東生駒キャンパスで実施する日は東生駒駅より【無料シャトルバス】を運行!

【オープンキャンパス主なイベント】

□入試説明会 □先輩とトークD E カフェ □個別相談
□キャンパス見学ツアー □学科別模擬授業 □学食体験 などを予定

【問合せ先】 帝塚山大学 入試課 TEL:0742-48-9149
E-mail nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

Tezmo 学生スタッフ募集

「Tezmo」とは帝塚山大学の最新情報がチェックできる受験生向けのモバイルサイトです! <http://tezmo.jp/>
キャンパスの最新情報や学生生活などを
ブログ形式で発信してくれる方を募集しています。

☆学生情報を発信したい方!
☆帝塚山大学をアピールしたい方!
☆ブログなどを書いてみたい方!



一緒に「Tezmo」を盛り上げましょう!
詳しくは入試課まで
TEL 0742-48-9149 東生駒キャンパス 9号館1階



帝塚山大学 Web サイトがリニューアル

本学ではより使いやすく、より充実した情報の提供が可能なWebサイトを目指し、2010年4月1日に「帝塚山大学Webサイト」をリニューアルオープンしました。

大学全学サイト内には、学生、卒業生、保護者、地域社会に対する本学の姿勢を示す、「絆~人と人、人と社会、今と未来を結ぶ~」のコンセプトページを新たに設け、帝塚山大学の指針を明確にしました。また、入試課サイトを別に設置することで、受験生の方々にもより一層配慮した構成としています。
Webサイトを通して、本学の最新情報を発信していきます。



抹茶ミルクパバロア 96kcal

材料(4人分)
大和茶……………小さじ2(4g)
砂糖A……………小さじ2(6g)
粉ゼラチン……………1.5袋(7.5g)
水……………大さじ3(4.5g)
牛乳……………1.5カップ(320g)
砂糖B……………大さじ3(27g)

下準備

粉ゼラチンは水に入れてふやかしておく。
湯を沸かしておく。(抹茶を溶きのばすために)

作り方

- 1 抹茶に砂糖Aを混ぜ、あらかじめ沸かしておいた熱湯(大さじ1)を加えて抹茶を溶きのばす。
- 2 鍋に牛乳、砂糖Bを入れて火にかけて、沸騰直前に火を止める。
- 3 ②の鍋にふやかしておいた粉ゼラチンを入れて混ぜる。
- 4 粉ゼラチンが溶ければ、①を加え、一度こす。
- 5 ④の荒熱をとり、氷水をあてがってボールのふちが固まりかけるくらいもったりとしたゼリー型に入れる。(混ぜていると感触が変わってくるので、そこがポイント!)
- 6 バットに入れて、冷蔵庫で冷やし固める。

サーモンのマリネ 66kcal

材料(4人分)
玉ねぎ……………100g
きゅうり……………100g
パプリカ(赤)……………50g
コーン(缶)……………50g
スモークサーモン……………4枚
パセリ……………4g
ドレッシングビネガー……………80cc
砂糖……………小さじ1(3g)
油……………小さじ1(4g)
柚子コショウ……………小さじ1/5

作り方

- 1 玉ねぎ・きゅうり・パプリカは1cm角に切る。玉ねぎは水につけてくみをとる。コーンは水気を除いておく。パセリは1房に切る。
 - 2 マリネ液を作り、①をマリネする。
 - 3 皿に②を盛り付け、かたよくスモークサーモンをのせ、パセリを添える。
- ※1日置くと味がなじんで酸味が和らぎます。



国際交流と英語コミュニケーション学科の

「海外臨地講義」

人文学部英語コミュニケーション学科の海外プログラムに新しい体験型プログラム『海外臨地講義』が加わりました。アメリカ・オハイオ州の本学海外協定校を拠点にした臨地講義担当の日本人教授とアメリカ人の現地講師のチームティーチングによる短期の海外集中講義で、アメリカの文化や社会に根ざした「生活英語」を体感する現地体験型の集中英語学習です。初回の臨地講義には、人文学部 西川精秀教授が授業を担当します。

誰でもこのプログラムに登録した学生なら参加でき、いままでと一歩、留学に届かなかった学生、また英語の成績はよくても経済的に躊躇していた学生が、英語コミュニケーション学科の講義として実際に体験できる短期海外集中コースです。

プロジェクトブックを通して事前に学習したインタビュー英語を利用しながらアメリカ文化と社会、そして英語そのものをじかに体験しながら学んでいくのが特徴。プロジェクトブックの完成がそのまま短期集中体験学習の成果とメモリーブックになります。海外協定校・マウントユニオン大学 (Mount Union College)

の教室や施設を利用しながら、さまざまな体験をインタビューし、英語の学習を通して現地の人々と交流します。

プログラム成功のために6月には現地担当者のスコット A. スレーバーさん (写真中央) が来学、私たち日本側スタッフと打ち合わせを行いました。「帝塚山とは長年の協定校としての歴史があり、今後も交流を深めたい」と話していました。

今年の「海外臨地講義」は、9月2日から14日まで。近辺の小中学校の訪問、大農場の訪問、アメリカ型近代の大老人ホームの訪問、そしてナイアガラ大瀑布での世界からの観光客との交流など、毎日がエキサイティングな英語学習を中心とした体験学習となっており、参加学生らは今から期待に胸を膨らませています。



帝塚山大学の留学プログラム

短期語学研修(春と夏の1ヶ月コース)、ポートランド州立大学での3ヶ月間に習得した英語学習を帝塚山大学の単位に読み替える中期留学、6ヶ月の語学留学、そして1年間の正規留学などがあります。

2011年度 帝塚山大学

特別選考TF方式のご案内

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「特別選考TF方式」を実施しています。

「TF」とは、「Tezukayama Family」の頭文字をとったもので、帝塚山学園の建学の精神、学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を既に卒業された方、もしくは現在在学している方の2親等以内の親族 (配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母) で、2011年3月に高等学校等を卒業見込みの方です。

詳しい資格要件に関しては、入試課までお問い合わせください。なお、特別選考TF方式で受験希望の場合は、説明会の参加が必須条件となりますのでご注意ください。また、その他の入試制度につきましても、お気軽にお問い合わせください。

出願までのスケジュール

説明会	● 7・8月のオープンキャンパス時にエントリー用紙・志望理由書を配布します。 ※特別選考TF方式で受験希望の場合は、右のいずれかに必ずご参加下さい。	(学園前キャンパス) 8月28日(土) (東生駒キャンパス) 8月7日(土)・8月22日(日) 時間: いずれも11:00~11:30
エントリー用紙・志望理由書提出期日	8月26日(木)~9月3日(金) (消印有効)	
事前面談	9月18日(土)	
出願期間	9月21日(火)~9月28日(火) (消印有効)	
選考日 (面接)	10月2日(土)	
合格発表	10月8日(金)	
1次手続き締切日 (入学金納付※)	10月21日(木)	

※特別選考TF方式で入学される方は、

入学金を¥300,000から¥100,000に減免します。

エントリー書類提出の際に、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を卒業された方、もしくは現在在学している方の2親等以内の親族 (配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母) であることの証明書 (卒業証書の写し・卒業証明書等を添付) が必要になります。

お問合せ先

帝塚山大学 入試課

Tel: 0742-48-9149 (直通) Fax: 0742-48-9021

E-mail: nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2011年度選考方法・入試日程一覧

入試区分	受付期間			試験	合格発表
	開始	最終	持込(本学持参)		
公募制推薦	前期	10月7日(木)	10月29日(金)	11月1日(月)	11月5日(金)
	前期(専門課程)				11月6日(土)
	面接型	10月7日(木)	10月29日(金)	11月1日(月)	11月7日(日)
	後期	11月17日(水)	12月7日(火)	12月8日(水)	12月11日(土)
一般入学生試験	後期(専門課程)				12月12日(日)
	A日程・前期	1月6日(木)	1月19日(水)	1月20日(木)~1月21日(金)	1月25日(火)
	A日程・後期	1月6日(木)	2月1日(火)	2月2日(水)~2月3日(木)	1月26日(水)
	B日程	1月25日(火)	2月16日(水)	2月17日(木)~2月19日(土)	2月6日(日)
センター試験利用入試	C日程	2月21日(月)	3月10日(木)	3月11日(金)~3月12日(土)	2月11日(火)
	前期	1月6日(木)	2月3日(木)	—	2月11日(金)
外国人留学生	後期	2月21日(月)	3月9日(水)	—	3月17日(木)
	前期	11月8日(日)	11月17日(水)	—	12月11日(土)
外国人留学生	後期	1月12日(水)	1月25日(火)	—	2月22日(火)
	前期	11月8日(日)	11月17日(水)	—	12月11日(土)

入試区分	エントリー期間		出願	試験	合格発表
	開始	最終	受付最終日		
AO入試	前期	8月26日(木)	9月3日(金)	9月21日(火)~9月28日(火)	10月2日(土)
	後期	11月29日(月)	12月6日(月)	12月13日(月)~12月16日(木)	12月18日(土)
	3月入試	—	—	2月28日(月)~3月11日(金) 3月14日(月)持込可能	3月17日(木)
シニア特別選考、社会人特別選考	8月26日(木)	9月3日(金)	9月21日(火)~9月28日(火)	10月2日(土)	10月8日(金)

※各試験の、選考方法、実施学部については、入試課にお問合せまたは、ホームページ (<http://www.tezukayama-u.ac.jp/admission/>) でご確認ください。



「大学通信帝塚山」
企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-9341 FAX 0742-48-9030
[E-mail] koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp
[URL] <http://www.tezukayama-u.ac.jp/>

読者の方々からの
声
をお待ちしております



PRESENT

「大学通信帝塚山」は、大学の各種情報を多くの方々に知っていただくと同時に、読者の方々と大学の双方向コミュニケーションの促進を目指しています。

本誌の記事、本学の教育・研究内容などについてのご意見・ご感想や、「大学通信帝塚山」に取り上げて欲しい内容についての皆様の声をお待ちしております。いただいたご意見等は次回以降の「大学通信帝塚山」に反映させていただきます。

※宛先は左記を参照してください。なるべく、ご住所、お名前、電話番号の記入をお願いいたします。

「大学通信帝塚山」について、ご意見をお送りくださった方全員に、帝塚山大学グッズをプレゼントします。